

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	15HP4001	事業期間	平成 27 年度～平成 31 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
再生医療にかかる基盤研究、臨床研究・ 治験及び人文社会科学（倫理・法令・経 済）等の情報の国際発信強化		一般社団法人 日本再生医療学会	理事長 澤 芳樹
学術刊行物の名称			(略称)
Regenerative Therapy			

【平成 29 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
○ A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>再生医療に関する学際的な研究活動の活性化、我が国の研究成果の世界への発信、を目指す重要な事業と認めるが、その主な取り組みは、インパクトファクターの取得とその値の向上、PubMedへの掲載といった活動が中心であり、学術誌としての価値向上に向けた試みが明確でない。</p> <p>掲載論文数は、2年目には増加したが、3年目は伸び悩み、目標の50報を大きく下回っている。加えて、平成28年は海外からの投稿が1件のみであり、外国人レフェリーの積極的導入を目標に掲げているにもかかわらず、その割合が僅か2%と、少々低すぎる。</p> <p>残りの助成期間中に目標値達成はもとより、国際誌としての真の学術的価値を高めるためのもっと具体的な施策が強力に推進されることを期待する。</p>	